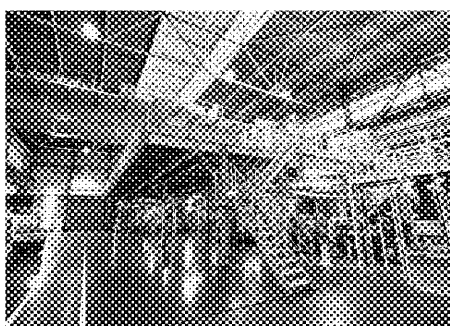


電熱式焼鈍炉を納入 中外炉、欧7基目

光輝焼鈍ラインを納入した。欧州向けの電熱式焼鈍炉の納入は7基目となる。今後も欧州市場を中心に、二酸化炭素(CO₂)排出量削減が期待できる電熱式熱処理設備の展開を強化する考え。

熱源が燃焼ではなく電気のため、設備からのCO₂排出量はゼロとなる。従来の燃焼式焼鈍炉の場合、年間CO₂排出量は約3000tという。

中外炉工業はルーマニアのステンレス鋼メーカーのオテリノックス向けに、電熱式連続



オテリノックス向けに納入した電熱式連続光輝焼鈍ライン

—1320mmのステンレス鋼帯を処理する。電気自動車(EV)の車載用電池関連素材や、データセンター向け熱交換器用素材など、需要拡大が期待される分野で使用する高品質なステンレス鋼材を製造できる。